

授業科目	共通基本技術Ⅱ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1年次前期	1単位	講義・演習 シミュレーション	30時間
到達目標	1. ヘルスアセスメントについて理解する。					講師
	2. フィジカルアセスメントについて理解する。					専任教員
3. 看護における観察の意義と技術について理解する。						
4. 記録報告の技術について理解する。						
授業計画						
1～	授業概要の説明					講義・DVD
2回	ヘルスアセスメントとは 健康歴とセルフケア能力のアセスメント					
3～	全体の概観					講義・DVD
4回	フィジカルアセスメントに必要な技術 視診・触診・聴診・打診の技術清					
5回	観察の意義と技術 全身状態・全体の印象の把握					講義
6回	バイタルサインの観察・アセスメント					講義・DVD
7～	バイタルサイン測定の方法 体温・脈拍・呼吸・血圧・意識					DVD・演習・シ
10回						ミュレーション
11～	計測・アセスメント 身長・体重・腹囲・胸囲測定方法					講義・演習
12回	ケアにつなげるフィジカルアセスメント 呼吸・循環・乳房腋窩・腹部・筋骨格系・神経系・頭頸部と感覚器・外皮系・ 心理社会状態					
13～	看護記録 看護記録とは					講義・演習
14回	記載・管理における留意点 看護記録の構成					
15回	まとめ					
評価方法	選択肢問題による筆記試験（60％）バイタルサイン技術試験（30％） シミュレーション・演習の振り返りレポート（10％）を総合して評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学② 基礎看護学技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護学技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術、医学書院 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント、インターメディカ					
備考	教科書・配布資料で予習・復習を行い、演習においては解剖生理を振り返り、必要な技術練習を行い臨むこと					